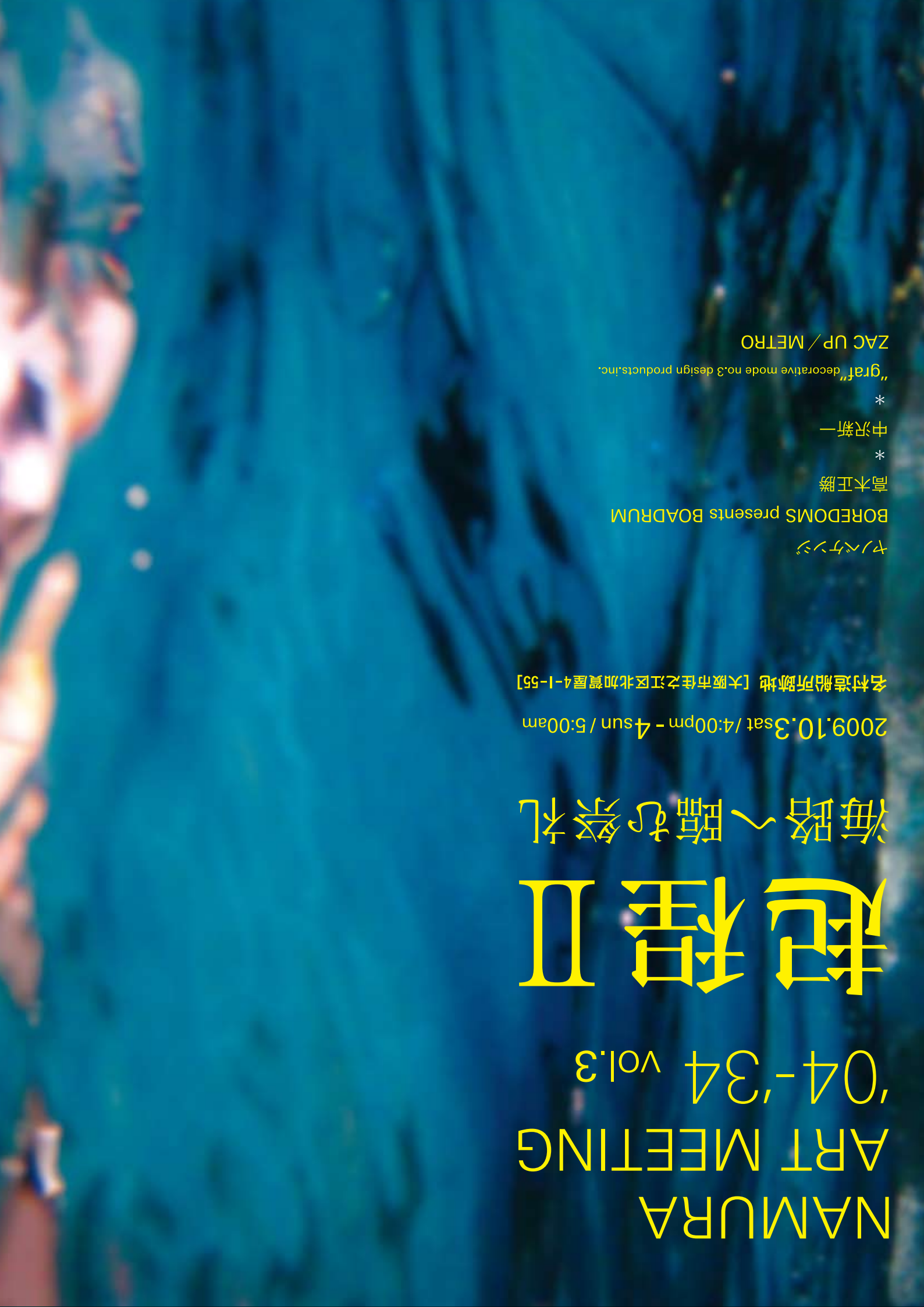




NAMURA ART MEETING '04-'34 vol.3

起程Ⅱ

海路へ臨む祭礼

2009.10.3sat / 4:00pm - 4sun / 5:00am
名村造船所跡地 [大阪市住之江区北加賀屋4-1-55]

ヤノベケンジ
BOREDOMS presents BOARDROOM
高木正勝
*
中沢新一
*
"grat"decorative mode no.3 design products,inc.
ZAC UP / METRO

NAMURA ART MEETING '04-'34 vol.3 「起程Ⅱ ～海路へ臨む祭礼」

日時	2009年10月3日[土] 4:00PM ～ 4日[日] 5:00AM
料金	一般 前売 6,000円 (全プログラム通し料金) 当日 6,500円 (全プログラム通し料金) 学生 前売 4,000円 (全プログラム通し料金) 当日 4,500円 (全プログラム通し料金) 真夜中クルージング 1,500円 (オプション 当日のみ販売) NAMURANITE 2,500円 (NAMURANITEのみ参加の場合) * 学生割引は、学生証の呈示が必要です。 * 一般、学生とも真夜中クルージング以外の全プログラムにご参加いただけます。(クラブ・イベントNAMURANITEも含みます。) * 真夜中クルージングはオプションにつき、別途料金が必要です。 当日ご来場時に申し込みをお願いします。 * 真夜中クルージングのみのご参加はできません。 * NAMURANITE料金は、クラブイベントのみご参加いただけます。 * NAMURANITEのみご参加の方は、22:30からご入場となります。

前売取扱	イープラスにて前売チケットを取り扱っております。  イープラス http://eplus.jp * パソコン、携帯電話から予約できます。
------	--

問合せ先	NAMURA ART MEETING実行委員会事務局 559-0011大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 TEL 080-3863-1928 E-mail art-meeting@namura.cc URL http://www.namura.cc/art-meeting
------	--

注意事項	* 雨天決行ですが、当会場は臨海地域につき、台風・地震(津波)など天災時には中止させていただく場合があります。 * 屋外イベントにつき、雨・気温への対策は各自でご用意ください。 * 会場となる造船所跡地は、一部施設を除き未整備の区域があります。通常の利用には一切支障はありませんが、くぼみや堤防などでは十分にご注意いただき、船舶機材等には触れないようにお願いします。 * ライブはすべてスタンディングです。チェアなど持込可です。 * やむを得ない事情により、登壇者ならびにライブなど内容に変更がある場合があります。出演者のキャンセル・変更に対してのチケットの払い戻しは行いませんので予めご了承下さい。 * 飲食の持込はご遠慮ください。 * 24:00以降は、再入場できません。 * 大阪府青少年健全育成条例により、22:00以降18歳未満の方は、ご入場いただけません。
------	--



アクセス	地下鉄四つ橋線「北加賀屋」駅下車、4番出口より徒歩10分。 〈新幹線でお越しの場合〉 新幹線「JR新大阪」駅下車、地下鉄御堂筋線に乗り換え後、「大国町」駅にてホーム向かい側四つ橋線に乗り換え。 〈飛行機でお越しの場合〉 大阪国際空港(伊丹)または関西国際空港から難波(なんば)へ。 地下鉄四つ橋線「なんば」駅から「北加賀屋」駅へ。 〈自動車でお越しの場合〉 阪神高速堺線「玉出ランプ」より5分。 有料駐車場あり(3時間500円)
------	--

主催	NAMURA ART MEETING実行委員会
特別協力	千島土地株式会社 株式会社ユーデーコンサルティング
協賛	関西電力株式会社 SHI/EIDO
協力	アサヒビール株式会社 セイコーエプソン株式会社 株式会社エディスグローヴ 有限会社ソルトムーン intext
制作協力	ART COMPLEX 1928 Creative Center Osaka リッジクリエイティブ株式会社
ドキュメント	NPO法人recip/地域文化に関する情報とプロジェクト

NAMURA ART MEETING '04-'34 vol.3

起程Ⅱ

海路へ臨む祭礼

2009.10.3sat /4:00pm - 4sun /5:00am
名村造船所跡地【大阪市住之江区北加賀屋4-1-55】

NAMURA ART MEETING '04-'34は、2004年から2034年までの30年間を芸術のひと連なりの現場ととらえ、芸術活動と隣り合う社会や個人が、＜出来事＞を共有しつつ未来を創造するという実験です。

本拠は、造船所の遺構、42000平米の敷地、2つのドック、対岸の製鉄所など、海路へ繋がる独自の資産と、アーティストの創造性と英知の相乗作用により、重工業の夢の跡から創造の現場へと転化しつつある場所です。

本プロジェクトでは、この近代産業遺産における芸術実験のテーマとして、海洋用語の「起程」という言葉を冠しました。「起程(きてい) departure」とは、出港、出発、門出。旅に出発すること。旅立ち。物事の起こりはじめを意味しています。

’07年の「起程Ⅰ」に続き、’09年「起程Ⅱ」では、来る10月3日～4日の2日間、近代産業遺産のポテンシャルを活かしたさらなる試みとして、さまざまな局面でリアリティを失いつつある現代において、シャーマンの役割を担う多彩なアーティストとともに、“海路へ臨む祭礼”を展開します。

さらに、トーク、ミーティング、クルージング、クラブイベント「NAMURANITE」など多岐に渡るプログラムを実施し、未知なる海図の一遍を紡ぎます。

既存の文化装置では成し得ない、本拠ならではの試みを通じて、日常という陸地に拘束された思考と感性を解き放ち、芸術の新たな指標を創出できれば幸いです。

NAMURA ART MEETING実行委員会

■実行委員によるミーティング
NAMURA ART MEETING実行委員によるオープニング・ミーティング。今回のテーマ「起程」や今後のヴィジョンについて語る。

10月3日 16:30-17:00 / map-A (屋外)
小原啓渡
木ノ下智恵子
甲斐賢治

■ヤノベケンジ・インスタレーション
日本を代表する美術家、ヤノベケンジの最新作アート船《ラッキードラゴン》と巨大彫刻作品《ウルトラ 黒い太陽》が登場。

10月3日 18:00頃 / map-B《ラッキードラゴン》
20:15頃 / map-C《ウルトラ》
22:30頃 / map-B,C 両作品
ヤノベケンジ【現代美術家】

■BOREDOMS presents BOADRUM
BOREDOMS(ボアダムズ)によるライブ・パフォーマンス。2007年、08年とNYでセンセーションを巻き起こしたBOADRUMのエッセンスを濃縮、数名のドラムによる屋外ライブ。

10月3日 17:00-18:00 / map-D
BOREDOMS presents BOADRUM

■高木正勝・映像&ライブ
独自の映像制作と音楽制作を等価に手掛け、多様な活動を展開しているアーティスト・高木正勝による映像インスタレーション×ライブ。

10月3日 19:00-20:00 / map-E
高木正勝【映像作家・音楽家】

10月3日【土】	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
実行委員会ミーティング		map-A						
ヤノベケンジ・ラッキードラゴン			map-B				map-B	
ヤノベケンジ・ウルトラ					map-C		map-C	
BOREDOMS presents BOADRUM		map-D						
高木正勝・ライブ&映像				map-E				
中沢新一・トーク							map-C	
NAMURANITE								
リビングルーム								

10月4日【日】	00:00	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00
NAMURANITE						map-F
リビングルーム						
真夜中クルージング						
真夜中ミーティング						

■中沢新一・トーク
思想家・人類学者の中沢新一によるソロ・トーク。現代のシャーマンの役割を担う、アーティストについての考察や芸術人類学の見地から様々な見解を語る。

10月3日 20:30-22:30 / map-C
中沢新一【思想家・人類学者】

■クラブ・イベント NAMURANITE
UKからThe Black Dog(WARP)が来日するほか、独自の演出空間で、Live・DJが繰り広げられる。

10月3日 23:00-4日 05:00 / map-F
プロデュース ZAC UP/METRO
Live The Black Dog(WARP)、Riow Araiほか
DJ Naoki Kihara, KUNIO ASAI

■野外リビングルーム・移動カフェスペース
grafオリジナルワークバイク(自転車)による移動式カフェが出現。時間や場所をゲリラ的に変え出没する「たまり場」となるmove(移動)する『野外リビングルーム』を創出。

10月3日 16:00-4日 05:00
プロデュース “graf”decorative mode no.3 design products.inc.

■真夜中クルージング / option
巨大工場群の壮大な風景が広がるベイエリアを、《ラッキードラゴン》とともに、クルーザーで周遊。

■真夜中ミーティング
未来を自由に思い描くためのミーティング。真夜中、会場の"どこか"に出現する。

10月4日 01:30-04:00の間で実施

NAMURA ART MEETING '04-'34

ヤノベケンジ Kenji Yanobe

大型機械彫刻や腹話術人形「なにわのトラやん」をキャラクターにした作品などを制作し、国内外の展覧会への出品や、美術館収蔵作品も多数。

一見するとキャッチーな作品世界に潜む、真摯なテーマと「美術とは目で見る哲学」という見解を、卓越した妄想力と技術によって表現する、日本を代表する美術家。

また、ファッションデザイナーや舞台演出家といった異分野のクリエイターとのコラボレーションも手がける。今夏のイベント「水都大阪 2009」では、アート船《ラッキードラゴン》の制作と、中之島の各所で作品を設置。

京都造形芸術大学教授。大阪在住。

<http://www.yanobe.com/>



《Ultra-Black Sun》 photo:Tomas Svab (c.) Kenji Yanobe 2009

中沢新一 Shinichi Nakazawa

宗教から哲学まで、芸術から科学まで、あらゆる領域にしなやかな思考を展開する思想家・人類学者。

主な著作に『芸術人類学』(みすず書房)、『精霊の王』(講談社)など多数。近著に『鳥の仏教』(新潮社)、翻訳書にクロード・レヴィ=ストロース『パロール・ドネ』(講談社選書メチエ)などがある。多摩美術大学芸術人類学研究所所長、芸術学科教授。くくのち学舎舎長。



photo:Yoshie Tominaga (MILD)

BOREDOMS presents BOADRUM

EYEが中心となって1986年にボアダムスを結成。当初から実験的なアプローチで異彩を放っていた。その後も国内外で精力的な活動を続け、実験的な精神に満ちあふれた常に新しいモノに挑戦し続けている。2001年V∞ REDOMSとしてドラム3台とDJの形態で円く輪を組み演奏すると言うボアダムスの核を追求していく形態を始めていく中、フジロックや国内外のフェスティバルでも活躍中。2007年には77台のドラムとのコラボレーションイベントである77BOADRUMをNYで2008年には88BOADRUMを実現化。ボアダムスは20年にわたる活動の中でさまざまな音楽や文化を消化し、浄化して力強く、衝撃的で美しい活力にあふれた音楽へと変え続けている。



“graf”decorative mode no.3 design products.inc.

大阪・中之島を拠点に、サロン、レストラン、ショップ・ショールーム、内装設計、プロダクトデザイン、グラフィックデザインなど、暮らしに関わるあらゆるものづくりに取り組み、発信している。NAMURA ART MEETINGにはVol.00から参加、欠かせない存在。

ZAC UP/METRO

来年20周年を迎える、京都川端丸太町にある老舗クラブ。クラブの枠にとらわれず、メトロ大学の開設など高い企画力で京都のクラブカルチャーを牽引。

関西アートシーン、サブカルチャーシーンにも影響を与え続けている。

高木正勝 Masakatsu Takagi

映像と音楽の制作を等価に手掛け、世界的な注目を集めるアーティスト。CDやDVDのリリース、美術館での展覧会や世界各地でのコンサートなど、分野に限定されない多様な活動を展開している。

オリジナル作品制作だけでなく、デヴィッド・シルヴィアのワールドツアーへの参加、UAやYUKIのミュージック・ビデオの演出、芸術人類学研究所や理化学研究所との共同制作など、コラボレーションも多数。

CD+神話集「Tai Rei Tei Rio」を6月17日に発売。また、2008年のコンサートの模様を軸に制作されたドキュメンタリー映画「或る音楽」が全国順次公開中。

<http://www.takagimasakatsu.com>



NAMURA ART MEETING実行委員会

実行委員
小原啓渡 (アートコンプレックスグループ統括プロデューサー)
木ノ下智恵子 (大阪大学コミュニケーション・デザインセンター)
甲斐賢治 (NPO remo/記録と表現とメディアのための組織)

事務局
岡田千絵 (ART COMPLEX) 緒方江美 (ART COMPLEX)
北村智子 (千島土地株式会社)
仲川あい
樋口貞幸

テクニカル・スタッフ
大鹿展明
加藤陽一郎 (SFC)
窪木 亨 (ART COMPLEX) 松谷将弘 (ART COMPLEX)
重田龍佑 (ART COMPLEX)

